

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学 I
講師	医師	実務経験の有無	有
単位数 (時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次・学期	1 年次 第 1 学期
授業概要*講師からのメッセージ	看護実践に必要なひとの人体の構造と機能を学び、日常生活行動の援助を考えられるようになってほしいです。		
目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を理解できる。			
目標：1. 日常生活行動に必要な身体各部の構造と機能を理解できる。			
2. 食べるために必要なしくみと働きを理解できる。			
3. ひとの内部環境の維持に必要な内分泌のしくみと働きを理解できる。			
回	授業内容		
1	身体の構造 1. 人体の外観の構造 2. 人体の部位と器官		
2	3. 人体を構成する組織と細胞		
3	消化器 1. 膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能		
4	1) 肝臓の機能		
5	4. 腹膜・腸間膜・後腹膜器官 5. 消化分泌 (ホルモン) の調節		
6 (45 分)	終了試験		
7	消化器 1. 口・咽頭・食道の構造と機能 1) 咀嚼と嚥下		
8	2. 胃・小腸・大腸の構造と機能		
9	1) 胃液の分泌と消化		
10	2) 栄養素の消化と吸収		
11	3) 機能的消化(咀嚼・消化管での移送：蠕動、分節、攪拌)		
12	4) 化学的消化 (消化液の消化酵素)		
13 (45 分)	終了試験		
14	内分泌 1. 内分泌器官の構造と機能		
15	1) 内分泌器官とホルモンの機能(1)		
16	2) 内分泌器官とホルモンの機能(2)		
17	2. 代謝の概要と機能		
18 (45 分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験 (100%) 評価基準参照		
教科書	医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[5] 消化器 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝		
参考書			
備考			